



第2章 本市の取り組み



観光レジリエンスサミットの成功に向け、受け入れ環境やおもてなし環境の整備、開催機運の醸成等にかかる協力体制の強化を図ることを目的に、地元の関係機関・団体の皆さまとの準備状況の情報共有や意見交換を行う地元連絡会を開催しました。

地元の皆さまと密に連携しながら、本サミットの円滑な開催を支援するとともに、仙台・東北の魅力や防災環境都市としての取り組みの効果的な発信等を行いました。

□ 名称

観光レジリエンスサミット地元連絡会

□ 構成団体(15団体)

- 仙台市
- 東北運輸局
- 宮城県
- 宮城県警察本部
- 第二管区海上保安本部
- 仙台商工会議所
- (一社)仙台経済同友会
- 東北大学災害科学国際研究所
- 東日本旅客鉄道(株)東北本部
- 仙台国際空港(株)
- (一社)東北観光推進機構
- (公財)仙台観光国際協会
- (株)河北新報社
- 仙台ホテル総支配人協議会
- 秋保温泉旅館組合

□ 開催の記録

	日時・会場	説明・協議事項
第1回	7月3日(水)11:00～ 仙台市役所本庁舎8F 第一委員会室	(1)観光レジリエンスサミットの開催概要及び市の取組予定について (2)地元連絡会各団体への協力依頼事項について (3)その他
第2回	10月23日(水)13:30～ 仙台市役所本庁舎8F 第一委員会室	(1)期間中の日程について (2)実施事業概要について (3)その他

■ 主催者との連絡調整

観光レジリエンスサミットに向けて、主催者である観光庁や、東北運輸局等の関係機関と連携して準備を進めました。仙台での開催にあたり、仙台・東北ならではの魅力を発信し、本市の観光レジリエンス強化に向けた取り組みを推進するため、観光庁と協議しながら実施事業を固めました。

5月28日に本サミットの仙台開催が決定した後、11月までの約6か月の期間、観光庁による現地視察への同行のほか、オンライン定例会議の実施や、地元関係機関との連絡調整など、関係者間で密に連携を図りながら準備を推進しました。

■ 警備体制

会合期間中は、観光庁、宮城県警察、仙台市の協議により警備計画を作成し、実施しました。

巡回警備、IDカードの発行、参加者の確実な受付による出入管理等により、大きなトラブルもなく全日程が終了しました。



仙台国際センター警備の様子

■ 危機管理体制

会合期間中は、危機への対応や発生防止のため、下記のとおり危機管理レベルおよび対応体制を設定しました。

また、会合開催前に、危機対策本部の運用を主眼とした初動対応訓練（図上訓練）を行い、テロ災害発生時の対応等を確認しました。

【危機管理レベルおよび対応体制】

期 間：11月9日(土)～11日(月)

体 制：危機管理レベル1(情報連絡体制の強化)

【初動対応訓練】

実施日：10月31日(木)

場 所：青葉区役所4階災害情報センター

参加者：危機対策本部事務局および各局区主管課等

内 容：爆破テロ災害発生時における危機対策本部の初動対応訓練（図上訓練）



初動対応訓練の様子

2. 会合開催支援②－警備・救急・消防体制・衛生対策等－

■ 消防体制

会合会場および関連施設等における火災等の未然防止と災害発生時の消防活動に万全を期すため、仙台市消防局による消防特別警戒を実施しました。特に、会場である仙台国際センター、佐勘には現地警戒本部を設置し、警戒体制を敷くとともに消防・救急車両を常駐配備しました。

また、会合開催前に、会場やエクスクーション関連施設等を対象にした特別査察を行いました。

【消防体制の概要】

期間：11月9日(土)～11日(月)

体制：第二警戒体制(現地警戒本部設置・人員および車両等手配)とし、延べ91名で対応

災害等発生状況：警戒期間中、会合の開催に係る災害および救急事案の発生なし

■ 救急医療体制

会合参加者に傷病者が発生した場合の受入や人員体制の確保等について、東北大学病院をはじめとする市内の災害拠点病院等に協力を依頼し、医療体制を確保しました。

また、大規模災害等発生時におけるDMAT(災害派遣医療チーム)の派遣について、宮城県等に協力を依頼しました。

【対応状況】

医療機関の対応：0件

DMAT出動要請：なし

■ 衛生対策

会合会場や宿泊施設、関連事業の会場における食品衛生および生活衛生の確保について、仙台市保健所が衛生指導を実施しました。

【実施内容】

- 監視指導、食品検査、ふき取り検査等による食中毒防止対策
- ノロウイルスやレジオネラ症防止対策のための宿泊施設等への監視指導
- 飲料水の安全確保対策
- 室内空気環境測定等による建築物衛生確保対策

■ 受入環境整備

受入環境整備のため、庁内関係課長会議を実施し協力体制の構築を図ったうえで、会場周辺および通行ルートにおいて、快適で安全・安心な環境と美しい景観を整備するための各種取り組みを実施しました。

【実施内容】

会合前

- 西公園～仙台国際センターの歩道・法面の除草
- 会場周辺や市内中心部の落書き消去依頼
- 仙台市中心部の清掃活動(仙台駅前、一番町、定禅寺通、青葉通等)
- 水道施設全体の巡回

会合期間中

- 通行ルート上の路上工事の休工依頼
- 会場周辺で施工中の路上工事を対象とした警備強化
- 水道施設全体の監視強化

2. 会合開催支援③－語学ボランティア－

会合期間中、35名の語学ボランティアが、様々な場面で会合参加者等へのサポートやおもてなしを行いました。



□ 当日の体制

活動人数：延べ38名(従事者数：35名)

(内訳) 11月 9日(土) 23名(仙臺緑彩館 16名、佐勘 7名)

11月10日(日) 12名(エクスカーション 12名)

11月11日(月) 3名(佐勘 3名)

活動場所	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ● 青葉山公園 仙臺緑彩館 (AOBAYAMA MORNING会場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文化体験受付補助 ・ 昼食ビュッフェでの案内補助 ・ 風呂敷ワークショップ、着付け体験、呈茶体験の説明補助 ・ 講演会・展示の説明補助
<ul style="list-style-type: none"> ● 佐勘 (歓迎レセプション会場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会合参加者のお出迎え、お見送り ・ PRブースの案内補助 ・ 歓迎レセプションの運営補助、案内補助、アナウンス補助
<ul style="list-style-type: none"> ● エクスカーション訪問先 <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災遺構 仙台市立荒浜小学校 ・ JRフルーツパーク仙台あらはま ・ 鐘崎総本店 笹かま館 ・ 仙台うみの杜水族館 ・ 天守閣自然公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学の誘導補助、説明補助 ・ 体験の説明補助

□ 活動者アンケート

約9割の方が「満足・どちらかという満足」と回答しました。不満の声としては、活動時間の短さや活動機会の少なさなどが挙げられた一方、会合参加者との交流にやりがいを感じたという声もみられ、配置場所によって満足度に差が出る結果となりました。

2. 会合開催支援④－語学ボランティア－

語学ボランティアに対しては、事前におもてなしの基本やマナー、仙台の魅力発信に役立つ英語表現等の研修を実施し、各自が準備を重ねながら当日を迎えました。

□ 募集

募集期間：7月19日(金)～8月19日(月)

応募人数：50人程度

募集方法：(公財)仙台観光国際協会に登録されているボランティア、
仙台コンベンション学生サポーターから募集のうえ決定

□ ボランティア育成研修会

日時：9月23日(月・振替休日) 10:00～13:00

9月28日(土) 13:00～16:00

会場：(公財)仙台観光国際協会 会議室

対象：語学ボランティア未経験者

内容：語学ボランティアとしての心得、会合参加者のおもてなし、
仙台・東北の魅力発信に役立つ英語表現など



□ 結団式および活動内容説明会

日時：10月26日(土) 9:30～12:00

会場：仙台市役所二日町第五仮庁舎(オンワード樺山仙台ビル)10階ホール

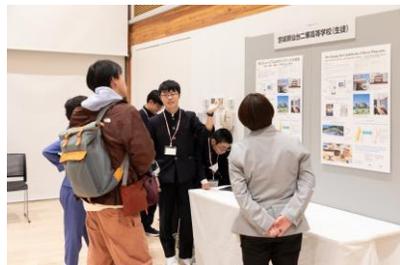
【結団式】

仙台市から「これまでの研修や経験を活かし、仙台の顔として会合参加者の皆さまをあたたくお迎えし、仙台の魅力をお伝えいただきたい」と挨拶を行い、語学ボランティアへボランティアジャンパーを贈呈しました。代表2名から、「ボランティア仲間と一致団結して活動していきたい」、「仙台にまた来たいと思ってもらえるよう、仙台・東北の魅力を発信したい」と決意表明がありました。

【活動内容説明会】

活動本番におけるボランティアの配置場所や活動内容について説明を行った後、海外からのゲストに対する接客マナーや、会合期間中の具体的な場面を想定した英語でのロールプレイングといった研修を行いました。





【講演会】※ 市民参加可
 サミット開催記念講演会 震災の教訓を未来につなぐ
 –観光で学ぶ震災の記憶–

時間	テーマ	団体名・登壇者名
10:00~10:10	ご挨拶	・仙台市観光レジリエンスサミット推進室 ・東北大学 災害科学国際研究所 副研究所長 小野 裕一 氏
10:10~10:20	観光レジリエンスサミット について	観光庁 国際観光部 参事官(MICE)付 課長補佐(総括) 石徹白 康平 氏
10:25~10:50	防災ミュージアムの歩き方①	宮城県仙台二華高等学校(生徒) 地主 樹 氏、高橋 俊人 氏、伊藤 哲 氏
10:55~11:20	3.11伝承ロードの取り組み①	(一財)3.11伝承ロード推進機構 業務執行理事 原田 吉信 氏
12:35~13:00	防災ミュージアムの歩き方②	宮城県仙台二華高等学校(生徒)
13:05~13:30	3.11伝承ロードの取り組み②	(一財)3.11伝承ロード推進機構

来仙した会合参加者を歓迎し、また市民の皆さまがサミットへの理解を深めるためのイベントを実施しました。

日時: 11月9日(土) 10:00~14:00

会場: 青葉山公園 仙臺緑彩館

主催: 仙台市

【歓迎イベント】AOBAYAMA MORNING

内 容: 日本文化体験(呈茶、着物の着付け、風呂敷包み)、
 仙台・宮城の食材を活用したビュッフェ

参加者数: 延べ13名

展示ブース:

- ・ 伝承ロードの取り組み((一財)3.11伝承ロード推進機構)
- ・ 東北と海外の防災ミュージアム(宮城県仙台二華高等学校)
- ・ 防災環境都市づくり(仙台市)
- ・ 東日本大震災時の民間事業者の取り組み(仙台市)
- ・ 海浜エリアの復興と現在の賑わい(仙台市)
- ・ 観光と危機管理にかかる本市の取り組み(仙台市)

参加者数: 約70人

3. 歓迎事業の企画・運営②－PR展示ブース－

会合参加者に向けて仙台・東北をPRする展示を行いました。

日時: 11月9日(土)午後～11日(月)午前

会場: 佐勘1Fロビー

主催: 仙台市

□ 東北6県の観光PR

- 各県の観光案内・お祭り衣装



(写真左から)青森ねぶた祭(青森ねぶた祭実行委員会)、秋田竿燈まつり(秋田市竿燈まつり実行委員会)、盛岡さんさ踊り(盛岡さんさ踊り実行委員会)



(写真左から)仙台すずめ踊り(仙台・青葉まつり協賛会)、山形花笠まつり(山形県花笠協議会)、福島わらじまつり(福島わらじまつり実行委員会)

- 各県の伝統工芸品



(写真左から)

伝統工芸品	出展団体
津軽塗	青森県漆器協同組合連合会
大館曲げわっぱ	大館曲げわっぱ協同組合
南部鉄器	南部鉄器協同組合
天童将棋駒	山形県将棋駒協同組合
赤べこ	笑美
ガラス万華鏡*	ガラス工房元
玉虫塗マルチボールペン*	(有)東北工芸製作所
松川だるま	本郷だるま屋
仙台平	(資)仙台平
堤人形	つつみのおひなっこや

* 会合参加者への記念品(P25参照)

□ 宮城伝統こけし～秋保の子どもたちによる個性豊かな絵付け～



宮城県立秋保かがやき支援学校に通う児童・生徒の皆さまのご協力を得て、こけしの絵付けを実施しました。作並こけし「平賀こけし店」の工人平賀輝幸氏による直接指導のもと、宮城伝統こけしの種類や特徴、作り方について学びながら、それぞれ思い思いの絵付けを行い、おもてなしの気持ちが込められた個性豊かな作品が完成しました。

これらのこけしは佐勘に展示して会合参加者にご覧いただき、終了後は、写真入りの感謝状を添えて、子どもたちに返却しました。

【こけしの絵付け実施概要】

日 時：9月24日(火) 10:00～12:00

会 場：宮城県立秋保かがやき支援学校 小体育館

参加者数：小学部(4～6年生) 17名、中学部(1～3年生)18名



3. 歓迎事業の企画・運営④ – PR展示ブース–

東日本大震災からの復興に関する取り組み

- 防災環境都市
- 東日本大震災からの復興と新たな賑わい



本市の施策

- ZERO-CARBON CITY
- プラスチックの水平リサイクル
- BOSAI-TECH
- 杜の都仙台



■ 会合参加者への記念品

会合参加者に向けて、歓迎の意を表すとともに、仙台の魅力発信やイメージの向上を目的に、特別仕様の記念品を贈呈しました。

【閣僚級】

ガラス万華鏡

ガラスと万華鏡を融合させた唯一無二の美しい世界観を作り出す作品。サミットロゴの色模様が見えるレンズが特徴。

- 製作：ガラス工房元 佐藤 元洋 氏
- サイズ：直径5cm×高さ14.5cm



【その他会合参加者】

玉虫塗マルチボールペン

玉虫の羽根に似た豊かな色調と光沢を有する「玉虫塗」にサミットロゴを施したオリジナルデザインのボールペン。

- 製作：(有)東北工芸製作所
- サイズ：縦1cm×横1cm×長さ13.5cm



■ PR用配布物

会合参加者に向けた仙台・宮城の魅力発信のため、コンgresバッグに各種パンフレットやPRグッズを同封し、配布しました。



配布物一式



秋保ガイドマップ表面



秋保ガイドマップ中面

□ 配布物

【パンフレット等】※全て英語表記

- 市内無料体験のご案内
- 仙台ツーリストマップ
- 秋保ガイドマップ
- 仙台ガイドブック
- 仙台3.11ビフォーアフターパンフレット
- 防災環境都市・仙台
- せんだいメディアテークガイドブック

【オリジナルグッズ】

- 玉虫塗マルチボールペン
- 樺細工 箸置き(観光庁手配)
- サミットロゴ入り付箋
- 仙台弁こけしドリップコーヒー

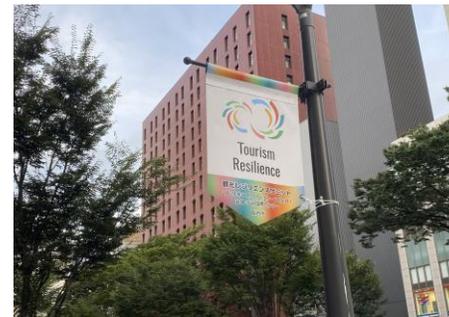
4. 情報発信・PR①－シティドレッシング(市内装飾)、カウントダウンボード設置－

■ シティドレッシング(市内装飾)

仙台市内中心部や玄関口であるJR仙台駅および仙台空港において、観光レジリエンスサミットに向けた装飾を実施し、仙台を訪れる関係者に歓迎の意を表すとともに、サミットに向けた機運醸成を行いました。

■ カウントダウンボード設置

観光レジリエンスサミット開催までの日数を示すカウントダウンボードを、50日前である9月20日(金)から各所に設置しました。このほか、第2回観光レジリエンスサミット地元連絡会の際にも設置し、会議の周知を行うとともに、開催機運の醸成を図りました。



歓迎フラッグ



歓迎横断幕



歓迎マグネットシート



歓迎フロアシート

期間	場所	内容
10月12日(土) ～11月11日(月)	青葉通(東二番丁通～晩翠通)	歓迎フラッグ掲出
	ハピナ名掛丁商店街	歓迎横断幕掲出
	市役所本庁舎仮囲い東面	歓迎マグネットシート掲出
	JR仙台駅東口ペDESTリアンデッキ(JR仙台駅2階東西自由通路先)	歓迎フロアシート設置
11月5日(火)～11日(月)	仙台空港 国内線到着ロビー	歓迎看板掲出
9月20日(金) ～11月11日(月)	仙台市役所1階東玄関付近展示スペース(県庁・市役所前バス停前)、仙台国際センター、秋保・里センター	カウントダウンボード設置



歓迎看板



カウンドダウンボード

※ 仙台空港の歓迎看板は、(公財)仙台観光国際協会の協力により実施しました。

4. 情報発信・PR② – 市政だより掲載、仙台市ホームページ

■ 市政だより掲載

仙台市政だより各号に観光レジリエンスサミットの概要や関連イベント等の案内などを掲載し、市民向けの周知・広報を行いました。

【掲載内容】

- 7月号: 開催決定、サミット概要
- 11月号: 準備状況、関連イベント
- 12月号: 開催報告



市政だより11月号



市政だより12月号

■ 仙台市ホームページ

仙台市ホームページ内に観光レジリエンスサミットの特設ページを開設し、開催のPRを行うとともに、会合参加者へのおもてなしに向けた取り組みや、市民向けの関連イベント情報などについて発信しました。



【主な掲載内容】

- 観光レジリエンスサミットについて
- 観光レジリエンスサミット地元連絡会
- 観光危機管理の強化
- 会合参加者へのおもてなしに向けた取り組み
- カウントダウンボード、横断幕等による広報
- 市民向け関連イベント(講演会)

【URL】

https://www.city.sendai.jp/mice/tourism_resilience_summit.html

4. 情報発信・PR③ー河北ウィークリーせんだい、子ども記者、仙台・未来創造フォーラムでのPRー

■ 河北ウィークリーせんだい

河北ウィークリーせんだい10月31日号に観光レジリエンスサミットの概要、開催記念インタビューや関連イベント情報を掲載し、市民の皆さまに周知・広報を行いました。



河北ウィークリーせんだい
10月31日号掲載

■ 子ども記者によるエコファミリーしんぶん取材

子どもたちの国際教育の推進を図るとともに、サミットの概要を広くお知らせするため、小学生記者が各国大臣に取材を行い、市内小学校で配布される「エコファミリーしんぶん」12月号に記事を掲載しました。また、同号の表紙では、宮城県立秋保かがやき支援学校によるこけし絵付けの取り組みについても取り上げられました。



大臣を取材する子ども記者



エコファミリーしんぶん
12月号掲載



■ 仙台・未来創造フォーラムでのPR

11月7日(木)に八芳園(東京都港区)で開催された仙台・未来創造フォーラム(首都圏プロモーション)において、観光レジリエンスサミットのPRを行いました。

当日は、郡市長による本市プレゼンテーションの中で観光レジリエンスサミット開催を紹介したほか、パネル展示を行いました。また、観光庁長官萩川直也氏が駆け付け、祝辞をいただきました。



萩川直也観光庁長官 祝辞



仙台・未来創造フォーラム 展示の様子

5. 観光危機管理マニュアル①

□ 仙台市観光危機管理マニュアルの作成

サミットの開催を契機とし、本市においてインバウンドを含めたさらなる観光客の誘客を図っていくことを見据え、災害時の観光客への情報発信や外国人への対応等について改めて整理した災害対応マニュアルを作成しました。

- 1～3月：観光庁ワークショップ参加
- 5～10月：作成作業

□ 観光危機管理ワークショップの開催

市内観光関連事業者等の観光危機に対する意識の向上・体制の強化を目的としたワークショップを全3回で開催しました。講師に観光レジリエンス研究所代表の高松正人氏を招き、観光危機管理とBCPの重要性を学んだほか、民間事業者における災害対策事例の紹介を行いました。

ワークショップでは、作成中の仙台市観光危機管理マニュアル案を示して関係事業者と意見交換を行うとともに、本市の観光危機管理に対する取り組みについて理解を深める機会となりました。

	開催日・会場	内容	参加団体
第1回	7月17日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口 カンファレンスルーム7H	<ul style="list-style-type: none"> 観光危機管理の重要性～行政、事業者等との役割分担～ (観光レジリエンス研究所代表 高松 正人 氏) 災害に備える事業継続計画(BCP)のすすめ (観光レジリエンス研究所代表 高松 正人 氏) 観光危機管理に関するディスカッション 	11
第2回	8月22日(木) TKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口 カンファレンスルーム7D	<ul style="list-style-type: none"> 観光産業における災害時の情報集約プラットフォームについて (（一社）日本旅行業協会) 訪日外国人向け災害情報提供アプリ「Safety tips」の取り組みについて (アールシーソリューション(株)) 民間事業者の観光危機対策事例のご紹介 (（株）タケヤ交通) 仙台市観光危機管理マニュアルについての意見交換 	13
第3回 × 仙台防災枠組講座	10月3日(木) TKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口 カンファレンスルーム7C	<ul style="list-style-type: none"> 能登半島地震の経験と教訓 (和倉温泉 多田屋) 仙台防災枠組について (仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室) 民間事業者の観光危機対策事例のご紹介 (（株）丸和運輸機関) 仙台市観光危機管理マニュアルについての意見交換 全3回のワークショップを通しての意見交換 	14



ワークショップの様子

□ 仙台防災枠組講座との連携によるセミナーの開催

サミットの開催終了後、市民向けに観光レジリエンスサミットの成果について仙台防災枠組と関連付けて学んでいただく場として、「仙台防災枠組講座 総合編」を開催しました。

【開催概要】

名称: とともに考える防災の未来 私たちの仙台防災枠組講座シリーズ
 仙台防災枠組講座 総合編
 - 地域防災の事例と観光レジリエンスサミットの成果から学ぼう -

日時: 12月21日(土) 10:00~12:00

会場: TKPガーデンシティ仙台 ホール21A

主催: 東北大学災害科学国際研究所、仙台市

参加者数: 83名

【プログラム】

- 講義 「観光レジリエンスについて」
 観光レジリエンス研究所代表 高松 正人 氏
 「仙台防災枠組について」
 東北大学災害科学国際研究所教授 今村 文彦 氏
- 事例発表 「多文化防災に関する取り組み」
 せんだい外国人防災リーダー
 ゴッドfrey・モンテロ・エドゥアルド・リチャード 氏
 (公財)仙台観光国際協会 岡崎 諒 氏
 「地域防災の取り組み」
 災強のすけっと 浦尾 樹正 氏、三瓶 杏純 氏
 ◎コメント 東北大学災害科学国際研究所教授 泉 貴子 氏
- 総括 東北大学災害科学国際研究所所長 栗山 進一 氏

